更新日：2026.03.16

地区：岩沼市　震災遺構・伝承施設

ジャンル：施設見学

対象：教育旅行　団体旅行　個人旅行

千年希望の丘（せんねんきぼうのおか）

学びのポイント

・震災の教訓によって導入された「千年希望の丘」「多重防御による減災（※）」など、岩沼市の減災対策を学べます。

・“自然との共生”を体現する千年希望の丘。避難丘の土台に震災がれきを再利用し、複数の丘を繋ぐ園路には在来種の樹木を植栽して「緑の堤防」を整備しています。“環境、防災、減災”の課題解決に貢献する、災害復興の先進事例を学ぶことができます。

・宮城県内で最も早く復興が進んだ岩沼市。震災後3か月で避難所を閉鎖、震災から4年後には防災集団移転先のまちびらきが行われました。集落ごとに行われた集団移転、住民主体で進められた移転先のまちづくりなど、行政と住民が連携し、スピード感とコミュニティの維持を重視して進めた、復興の経緯を学ぶことができます。

※ 多重防御による減災：津波の力を減衰させる4つの防御「防潮堤」「千年希望の丘」「貞山堀の護岸」「かさ上げ道路 玉浦希望ライン」で津波からの避難時間に余裕をつくる対策

1．内容

説 明	「千年希望の丘」は“千年先まで子どもたちが笑顔で幸せに暮らせるように”との願いが込められた、岩沼市の復興を象徴するメモリアルパークです。 市内広範囲に平野が広がる地形により、市域の約48％が津波で浸水した岩沼市は、県内の自治体で最大割合の浸水面積になりました。その経験から、市では“減災”の考え方を基本に、津波で居住不可になった沿岸部、約10kmにわたるエリアに「一時避難場所」「震災伝承」「追悼・鎮魂」の3つの役割を兼ねて千年希望の丘を整備しました。 千年希望の丘エリア内には、津波で被災した6つの地区名（相野釜、藤曽根、二野倉、長谷釜、蒲崎、新浜）が冠せられた公園と14基の避難丘（震災前よりあった既存の丘2基も含む）を整備。その丘の土台には、市の震災がれき約9割にあたる約57万4千トンを用いることで、津波の痕跡、人々の暮らした証、被災者の想いを伝えています。そして、丘と丘とをつなぐ園路が「緑の堤防」になるよう、市民やボランティアの手により、タブノキ、シラカシなど、この地の在来種約40万本が植樹されてきました。このように、千年希望の丘は“みんなでつくる場所” として、多くの人々が関わっています。 また、被災した住宅の基礎、石蔵などを震災遺構として保存、来訪者の交流拠点「千年希望の丘交流センター」では“復興のトップランナー”と称される岩沼市の震災復興の取り組みについて発信しており、震災の被害状況、復興の経緯などを学ぶことができます。 ［2016年4月開園］

作成：宮城県復興支援・伝承課　みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター

＜千年希望の丘 相野釜公園・二野倉公園 周辺略図＞

岩沼市の沿岸、全長約10kmにわたり整備された千年希望の丘。仙台空港から近い北側のエリアには3つの公園と8基の丘があります。ゲートウェイとなる「相野釜公園」には、東日本大震災の慰霊碑、千年希望の丘交流センター、震災遺構の住居跡や火の見櫓（やぐら）などから、震災の被害状況や千年希望の丘の概要を学ぶことができます。また、「いわぬま震災語り部の会」によるガイドも行われています。（要予約）

相野釜公園から約4.5kmのところにある「二野倉公園」には、震災遺構の石蔵や、宮城県農業高校の生徒たちが整備した桜広場があります。隣接する「いわぬまひつじ村」では、羊の牧場、農園、ドッグランなどが整備され、えさやり体験などを楽しむことができます。

公園や丘の移動に利用できるレンタサイクルは、千年希望の丘交流センターで借りることができます。
※ レンタサイクルの利用期間は4～11月、定休日は火曜日（祝日の場合は翌平日）

2．施設情報①＜千年希望の丘＞

開園時間	千年希望の丘内の各公園は常時開園
定休日	公園の閉園日はなし ※千年希望の丘交流センターの定休日は火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始
所要時間	① 相野釜公園の自由見学：60分（交流センター、慰霊碑、1号丘、2号丘） ② 相野釜公園での語り部ガイド：60分～90分 ③ 千年希望の丘交流センターでの解説：30分
予約	相野釜公園では「いわぬま震災語り部の会」による語り部ガイド、千年希望の丘交流センターでは職員による解説を行っています。個人・団体問わず、ご希望の場合は事前にご予約ください。 ※定休日：火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始 ＜予約方法＞ 電話にて空き状況を確認後、電話、FAX、メールにて実施日の1週間前までに予約 予約の受付開始は原則実施日の4か月前から行いますが、4か月より前は仮予約として受け付けます 問合せ・予約先：千年希望の丘交流センター TEL：0223-23-8577
見学人数	②「いわぬま震災語り部の会」による相野釜公園の語り部ガイド：最小5名～最大90名 ※語り部ガイド1名につき最大30名 ③ 千年希望の丘交流センターでの解説：最大30名 ※30名を超える場合でも状況により対応可能なためご相談ください
料金	②「いわぬま震災語り部の会」による相野釜公園の語り部ガイド：語り部1名につき3,000円（税込） ③ 千年希望の丘交流センターでの解説：無料

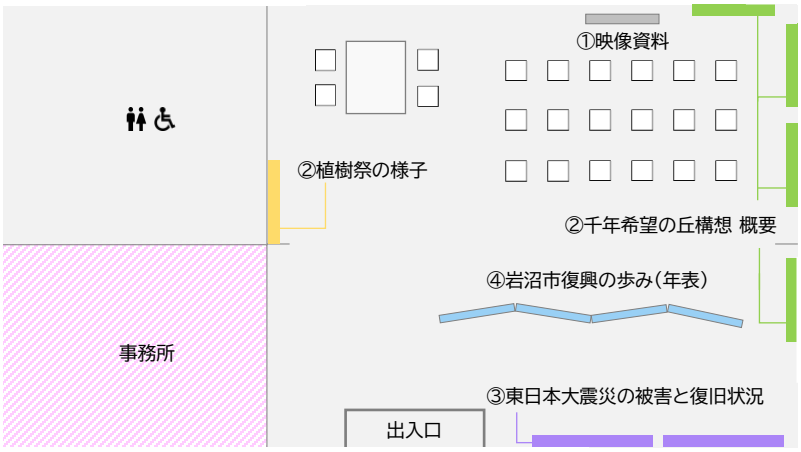
1号丘（避難丘）と園路「緑の堤防」

千年希望の丘 交流センター

3-1．園内施設情報＜千年希望の丘交流センター＞

説明	相野釜公園内にある防災学習や環境保全活動を行う方々の交流拠点施設です。パネルや写真などの展示、防災学習DVDの上映を行っており、千年希望の丘プロジェクトの概要、岩沼市における東日本大震災の被害状況、復興計画と復興への歩みを学ぶことができます。 開館時間：9:00～17:00 休館日：火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始 所要時間：30分　※映像視聴時間を含む 見学人数：最大30名程度まで　※30名を超える場合でも、状況により対応可能なため、事前にご相談ください 料金：無料 **＜映像＞** 岩沼市の復興の歩みと教訓、防災・減災について学べる映像を視聴することができます。 視聴時間：「千年希望の丘～東日本大震災から学ぶ」(18分) 「伝えたい復興～震災から10年 想いは未来へ～」(15分) 字幕：日本語・英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語　※:「千年希望の丘～東日本大震災から学ぶ」のみ 定員：30名程度　※30名を超える場合はご相談ください

＜千年希望の丘 交流センター全体図＞



①岩沼市の震災被害と教訓
防災・減災(映像資料)
震災の教訓と減災の考え方のもと、命を守るためにはどのような備えが大切かを考えることができます。会場の配置は見学人数により変更されます。

②千年希望の丘構想の概要
植樹祭の様子
千年希望の丘の基本構想や、ボランティアの方々による植樹の様子を写真などから、プロジェクトの概要を学ぶことができます。

③東日本大震災の被害と復旧状況
岩沼市沿岸の6つの地区の被災現況、被災施設、復旧活動の様子について写真で紹介しています。

④岩沼市復興のあゆみ
「岩沼市」「国・県」の震災発生から10年の対応と取り組みを時系列で展示しています。比較しながら見ることで復興状況の経過について更に理解を深めることができます。

3-2．園内施設情報＜東日本大震災 慰霊碑＞

説明	震災犠牲者の鎮魂のため、相野釜公園内に建てられた慰霊碑。人と人が支え合う形をイメージした塔は、津波がこの場所に遡上した高さと同じ8m。塔の中心の鐘には、鎮魂と記憶、希望の意味が込められています。 塔の両脇には、震災の記憶を後世へ残すための伝承碑と、犠牲者の氏名を刻んだ刻銘碑があります。

3-3．園内施設情報＜千年希望の丘 １号丘･２号丘･3号丘（避難丘）＞

説明	千年希望の丘にある14基の避難丘のうち3基が相野釜公園内にあります。一番目に作られた1号丘は、多くの方々の寄付により作られました。丘の最上部には日時計があり、被災6地区を配置した絵柄が表現されており、慰霊碑のある相野釜公園を表す部分に影が重なり、鎮魂の想い、被災者の想いを伝えています。2号丘と3号丘は、丘の周りがスロープになっており、車椅子でも登ることができるように作られています。 いずれの丘も高さは東日本大震災時の津波の高さ、8mよりも高く整備されており、津波の力を減衰させる役割があるほか、万が一逃げ遅れた際の避難場所になります。また、最上部には、防災あずま屋やソーラー照明による充電器など、一時避難に便利な機能が備えられています。 ※避難丘は地震発生後に万が一逃げ遅れた場合の避難場所です。地震が発生したら、原則千年希望の丘より内陸(西側)にあるかさ上げ道路を目指し、さらに内陸側へ避難するようになります。

2号丘

1号丘 最上部にある日時計

3-4．園内施設情報＜震災遺構･岩沼集落景観VR･ウォークスルー動画＞

説明	震災前は136世帯が住んだ相野釜地区。古くから農業が盛んで“相野釜メロン”の愛称で親しまれた岩沼市特産の「クールボジャメロン」の産地でした。震災では40名以上の方が犠牲になり、脈々と続いた集落の光景と人々の暮らしは失われました。 相野釜公園内では、かつての人々の営みと津波の恐ろしさを伝えるため、住宅の基礎や生活道路、相野釜稲荷神社の玉垣、津波で倒れた火の見櫓(やぐら)などを震災遺構として公開しています。 また、VR技術で再現された震災前の景観を、スマートフォン等で体験できるシステムを千年希望の丘内の複数か所に設置。相野釜公園には5か所あり、スマートフォン等を用いて震災前の集落の景観と、現在の様子をその場で見比べることができます。また、交流センター内では、震災前の集落内の移動を仮想体験できるウォークスルー動画を常時上映しており、津波で失われた景観を体感することもできます。

震災遺構の住宅基礎

岩沼集落景観VR「稲荷神社」

4．学習教材・資料

事前・ 事後学習 参考サイト	事前学習：千年希望の丘ポータルサイト(千年希望の丘交流センターホームページ) https://sennen-kibouno-oka.com/ 事後学習：交流センターでの解説や震災語り部ガイドを受けられた方に、千年希望の丘と東日本大震災について復習できるワークシート(1枚)をお渡ししています

5．施設情報⑥

トイレ	相野釜公園： 男性用5・女性用3・バリアフリートイレ1 交流センター：男性用2・女性用2・バリアフリートイレ1				
バリアフリー	・千年希望の丘にある14基の丘のうち、1号丘を除きスロープあり ・慰霊碑周辺にスロープあり ・交流センター入口に段差なし	買物施設	相野釜公園内に自動販売機あり	食事施設	なし
その他	交流センター出入口付近にAED設置あり				

6．アクセス

所在地	＜相野釜公園＞ 〒989-2421　宮城県岩沼市下野郷字浜177 Googleマップ:https://maps.app.goo.gl/mPNWr3FHqKy8z4Pp6	
駐車場	相野釜公園:普通車73台、障がい者等優先2台、大型バス2台	
アクセス	車	JR東北本線岩沼駅より相野釜公園まで車で約20分 仙台東部道路 岩沼ICより相野釜公園まで車で約10分 仙台東部道路 仙台空港ICより相野釜公園まで車で約7分
	その他	電車利用の場合 仙台空港アクセス線仙台空港駅より相野釜公園まで徒歩約17分 タクシー利用の場合 JR岩沼駅より相野釜公園まで約20分
各地からの所要時間		・仙台駅より仙台東部道路を経由して相野釜公園まで車で約45分(一般道を経由した場合も約45分) ・仙台空港より相野釜公園まで車で約5分 ・松島海岸より相野釜公園まで三陸自動車道～仙台東部道路を経由して車で約40分

7．災害時の対応

周辺の避難場所	交流センター内：地震発生の場合は、職員の指示に従って駐車場へ向かい、かさ上げ道路の西側（内陸側）へ避難 相野釜公園での語り部ガイド：語り部ガイドより案内開始前に非常時の避難方法と避難経路の説明あり 非常時はガイドの指示に従い避難

8．その他

外国語対応	・相野釜公園、および交流センターのキャプション、解説パネル（一部）日本語と英語の併記あり ・2号丘の防災機能設備に日本語と英語併記あり ・交流センター内で上映の防災学習用動画に多言語字幕あり［日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語］ ・英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語の解説書（無料）あり ・通訳が同行する場合は、通訳を介した案内への対応が可能
周辺施設	いわぬまひつじ村：相野釜公園より車で約5分 竹駒神社　：相野釜公園より車で約18分 金蛇水神社：相野釜公園より車で約20分 名取市サイクルスポーツセンター：相野釜公園より車で約11分 かわまちてらす閖上：相野釜公園より車で約14分

9．レンタサイクル

説明	千年希望の丘を周遊できるよう、交流センターで自転車の貸し出しを行っています。 丘と丘をつなぐ園路を走行し、自然の景観を楽しみながら、貞山運河、二野倉公園にある震災遺構の石蔵、いわぬまひつじ村などの拠点をめぐることができます。 ※レンタサイクルの利用範囲は千年希望の丘エリア内です。 ＜借り方＞ 交流センター窓口にて職員にお声がけください
貸出期間	4～11月 ※火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始は貸出不可
貸出時間	9:30～16:30
料金	普通自転車・フリーパワー自転車（小学3年生以上が対象※）：200円（税込）／1台1回 ※安全管理のため乗車可能最低身長あり　普通自転車137cm以上・フリーパワー自転車145cm以上 電動アシスト自転車（中学生以上が対象）：400円（税込）／1台1回

10．お問合せ先

千年希望の丘
E-mail：kouryu●city.iwanuma.miyagi.jp（●を@に変更してください）
サイト：https://sennen-kibouno-oka.com/